

全国一般神奈川

発行者
 全国一般労働組合全国協議会神奈川
 横浜市中区翁町 1-5-14
 新見翁ビル4F
 TEL. FAX.
 045-319-4391

9・19さようなら原発集会へ！ ザポリージャ原発の軍事的制圧を許すな！

ウクライナ南部のザポリージャ原発がロシア軍により制圧され、その原発に対する、砲撃、ミサイルによる軍事的攻撃が日々発生し、外部電源一時停止の事故まで起きている。

どちらが原発を攻撃しているかというより、原発を軍事的に攻撃・制圧したロシアの責任は明白である。ヨーロッパは、今現在、チェルノブイリ以上の事故の危険に直面している。

しかし、NPT核拡散再検討会議は、ヨーロッパ最大のザポリージャ原発の安全確保に向けた宣言の合意に失敗した。これは、「核の危機を人類がコントロールできない」という深刻な問題である。

原発を保有する日本は他人事ではない。今現在、原発がミサイル攻撃目標にされたら、完全には阻止できないのである。

そもそも、原発は核反応という非ニュートンの現象を、鉄とコンクリートというニュートン物理学の枠内で閉じ込めようとする、すでに破綻した技術であり、世界の地震発生率の10%を占める日本に原発を建設したこと自体が不適切だったのである。

しかし、岸田首相は、歴史に逆

行して原発の新設を打ち出した。これは、歴代首相が回避してきた安全確保、核廃棄物処理等の問題の地元説明をなし崩し的に飛び越えて、原子力(核)開発を進めるという暴挙である。

ロシアのウクライナ侵略によるエネルギー危機、電気代の値上げに対する国民の不安を煽り原発推進への方針転換を強行するものだ。電力は自然エネルギーで足りるという研究結果が出ている。騙されてはならない。

原発の軍事的制圧を正当化する国が出現し、「核抑止力では平

和を維持できない」ことが明確になった。今IAEAがザポリージャ原発の視察を行っているが、核兵器廃絶に向け、原子力(核)に頼らない社会の実現に向け私達はどうするべきか？真剣に議論するべき時である。

(米山)



昨年度 第24回定期大会の様子

第25回定期大会

9/25(日)
 12:30開場
 13:00開始
 15:00終了

神奈川労働プラザ
 〒231-0026
 神奈川県横浜市中区寿町1丁目4



スケジュール

- 9月14日 20時 事務所・LINE 神奈川合同支部会議
- 9月15日 17時30分 局 郵便横浜港局団体交渉
- 9月15日 ウエブ 労働弁護団セミナー
- 9月16日 16時 事務所 横浜交通開発会議
- 9月17日 13時30分 小田急生田駅 県共闘明大登戸研究所見学
- 9月18日 10時 事務所 機関紙発送作業・大会議案書等準備
- 9月18日 14時 寿公園 寿労働相談
- 9月19日 13時 代々木公園 さようなら原発大集会
- 9月20日 19時 事務所 第12回担当者会議
- 9月21日 16時 平労会館 FF1500実行委員会
- 9月22日 19時 事務所 県共闘事務局会議
- 9月23日 16時 藤沢 東横イン会議
- 9月25日 13時 労働プラザ 全国一般神奈川第25回定期大会
- 9月26日 19時 事務所 神奈川労働相談センター会議
- 9月27日 17時30分 横浜西口 JAL横浜西口情宣行動
- 10月11日 19時 事務所 25期第1回執行委員会
- 10月23日 14時 事務所 25期第1回支部代表者会議

第32回全国協定期大会に参加して



新橋の「港区立生涯学習センターばるーん」で9月10日〜11日の2日間にわたり開催された全国協の第32回大会にリモートで代議員として参加しました。星野副委員長の司会のもと、討議前に設立から長年にわたり書記長として全国協の運動を支えられ、本年3月に永眠された元遠藤書記長への黙とうが行われ、リモート参加者を含め参加者全員による追悼がなされました。

討議の委員長挨拶では、平賀委員長から3年間のコロナ危機に加えウクライナ問題に

よって日本社会がおかれている状況、全国一般が求められている使命について問題提起がありました。非正規や中小企業、介護や福祉等の現場で働く労働者はアベノミクスによる大企業や機関投資家の収益の増大と引き換えに犠牲になってきただけでなく、コロナ危機による減収に加えウクライナ問題による物価高騰により、命と生活をめぐる状況はより深刻化しています。組合としてこの状況にどのような対応して行くか、一年間の総括と次年度方針で確認されたのは、安定雇用と生活でできる賃金の獲得を改めて最優先課題として再認識しよう、その上で組織拡大と各職場での闘いの武器を豊富化することが不可欠ということでした。

実際、各単組からの報告でも、わたらせユニオン、長野全国一般でそれぞれ7名、9名の組員により支部・分会が新たに職場で結成され、集团的労使関係の第一歩が広がったこと、また、宮城合同労組やユニオン北九州で正社員との

賃金差別撤廃の闘いの報告があり、待遇改善の成果も共有されました。

しかし、また一方では少子高齢化に歯止めがかけられない中、事業者も無期転換した契約社員の正社員との賃金格差を維持するべく、パート有期労働法の抜け道を周到に準備している実態や、さらにケアワーカーズユニオンの組員にたいするスラップ訴訟など、公然した組合敵視の姿勢に直面している現状も受け止めざるを得ない状況です。

全国協神奈川として、全国協の仲間の闘いの成果と課題を共有化し労使交渉の武器を豊富化すること、職場の組織化を進めることで最賃の闘いをベースアップにつなげるための連帯を25日の大会で強化していきましょう。

今回の大会で野中執行委員長が退任し、新たに清水執行委員長が中央執行委員に選出・承認されました。野中さん、2年間、苦勞様でした。

(八木)

寿夏祭り無事開催される

8月14日(日) ~ 15日(月) 寿公園



8月14日寿夏祭りが開催されました。台風で1日変更になりましたが、夜には、寿公園のやぐらに町の人や支援の方々が多く集まり盆踊りを楽しみました。寿の子供達も楽しく踊っていました。

15日にはセンター前で物故者供養も行われました。コロナに気を付けての夏祭りでしたが無事開催できて良かったです！ (采山)

(福)らぼおるの樹 障がい者(児)福祉事業での働く者の権利を守る!

八谷 俊彦

精神・知的・身体・内部障がい等を有する方を対象とする福祉サービスは、家族会や有志による「街角の作業所」の時代から、企業算入可能な自由開業の時代となりました。結果、街のあちらこちらでサービスを受け社会参加する姿が見受けられるようになったことも事実です。

(福)らぼおるの樹は20年程前に設立、グループホーム、かつての作業所やデイサービス、ホームヘルプ

精神・知的・身体・内部障がい等を有する方を対象とする福祉サービスは、家族会や有志による「街角の作業所」の時代から、企業算入可能な自由開業の時代となりました。結果、街のあちらこちらでサービスを受け社会参加する姿が見受けられるようになったことも事実です。

○組合員の不利益待遇、不当な人事異動
○未払い賃金、労務人事書類の隠へい。
○月400時間近くにもなる過重労働
○就業規則等の不配置、重要な事項の非周知
○雇用契約の不履行、契約

現在、法人は団体交渉に応じない状態ですが、一方で着実に組合員を新規獲得し、しかし企業方パナンスは低下(不正請求で事業停止)し、経営見通しが悪化、今後は合理化、差別化にも焦点を合わせた闘いになるかもしれません。

パー・相談支援等の小規模事業場が最大時31箇所職員180名。組合員は下記のような課題で取り組んでいます。

○新型コロナウイルス等の労災隠し。現場の労働安全衛生。

自己を交わさず就労させる。

○新型コロナウイルス等の労災隠し。現場の労働安全衛生。